



かわごえ



民児協だより

[第91号]

令和6年6月発行
(2024年)

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



赤い芍薬 (シヤクヤク)

撮影者 中村 時男

力まない活動推進

『居住者カード』回収活動の成功に向けて



会長
藤崎 昇

一斉改選から一年半が経過した今日、皆さんの地域でのボランティア活動に感謝申し上げます。民生委員・児童委員委嘱後は緊張しないで肩の力を抜いて、地域の方々と笑顔で接し信頼関係の中で、安心して暮らせる地域社会作り活動を進めていきたいと思います。

この七月には三年毎に実施する『居住者カード』回収活動が始まります。この活動は民生委員・児童委員信条の『地域社会の実情を把握する』を受けて進めています。自治会から本年一月十一日市自治連・市民児連役員合同会議のなかでこのカード回収に向けた協力を確認しています。
今年一月、警察からの連絡で私の担当地域での独居高齢者孤独死を知らされま

した。『居住者カード』に緊急連絡先の記述がありましたので、それを警察に連絡し、また県外居住の兄弟に弟さんの急逝を話し、お悔やみ申し上げました。三月下旬、兄弟から「警察と調整がつき茶毘に付し感謝しています」との報告をいただきました。

今後高齢化社会の中で、先の事例のように「孤独・孤立死」が予想され、『居住者カード』が益々重要視されるものと思います。『居住者カード』回収活動の成功に向け頑張っていきたいと思います。

本稿歌で結びます。

ありがとうございます

わずから音その中に
互いの信頼分かち合う

各部会の活動紹介

生活福祉部会

生活保護法・身体障害者福祉法・知的障害者福祉法に基づく協力活動、ならびに、地域における当該福祉問題の把握と、実践活動を計画推進することを目標としています。

今年度は、ヤングケアラーや生活保護申請実務を学習のテーマとして取り組みました。

地域の皆様の協力を頂き、ヤングケアラーの現状を把握することができました。民生委員・児童委員のワケを越えることも、多くありました。

担当地域の現状や個々のケースを共有し、行政に対して理解を深めることができましたと考えております。

又、法律的な矛盾があることも、感じる事ができました。

改善することが可能な案

件もあり、生活福祉部会として、ヤングケアラーの支援のありかたを関係者から学ぶ方向で活動してゆきます。

高齢者については、さまざまなケースが見られ、地域差も問題になっております。認知症対策や健康面について、行政と連携した支援の方法を考え実行してゆきたいと思っております。

民生委員・児童委員としての経験や知識を行政に対して発信してゆくことも、生活福祉部会の活動として必要になると考えております。

生活福祉部会は、勉強会のテーマにとらわれず、拡大発展した話し合いをすることができ、大変活発な楽しい部会になっております。

児童福祉部会



わたくしたち児童福祉部会は、子どもが関わる事に関して勉強をし、部会員個々の資質の向上を図り、地域に情報を共有する事を目的として活動しております。

前年度の改正で部会員がほぼ全員入れ替わって、児童福祉部会として何をすべきか何ができるかという話題の結果、まずは子どもに携わる施設の情報・機関の役割の勉強をしていこうとなり、児童相談所の方や子ども家庭課の方にお話を伺いしました。

地域の子どもの困りごとや抛り所が多い事を知り得



る貴重なお話でした。

また情報交換会を実施し、新たな問題があった際にはその問題に関する機関のお話を伺いたいと思っております。

普段高齢者との関わりの方が多くなか、子どもの現状を把握でき勉強できる事はわたくしたちの情報力の成長にも繋がるので児童福祉部会の活動は皆様の力にもなると思っております。

広報部会

広報部会は、部会員22名で構成され、年間の主な活動は「民児協だより」の発行作業です。発行は年2回（6月・1月）で、グループに分かれて編集作業を行います。記事の内容・レイアウト決めから始まり、記事の原稿依頼、校正作業、各種団体への発送作業まで約3ヶ月かけて取り組みます。

最初の編集作業はなかなか進まず課題も多くありましたが、部会員で意見を出し合いスムーズに作業が進められるよう努力を重ねてきました。

編集作業から発行までの期間は、集まる回数が多く時間も長いので、自然と会話が楽しい時間でもあります。今後はSNSを利用して編集会議を行うなど、部会員の負担軽減を図っていきたいと考えています。これからもよりよい紙面作りを心がけて部会員一同活動していきたいと思

主任児童委員部会



開催してたくさん
の親子と交流し、
主任児童委員を
知ってもらおうこと
ができました。併
せて、「主任児童
委員ハンドブック」
を使った学習
も始めました。

また、委員は各地区で
様々な子育て家庭への支援
活動を行っています。

制度化されて30年、主任
児童委員は子ども子育て
家庭と関係機関をつなぐパ
イプ役として、ますます期
待されています。

部会では、学習会、イベ
ント開催、視察研修等を通
して幅広く学び、委員間で
情報共有しながら、地域の
活動に活かしていこうと取
り組んでいます。

昨年度の定例会では、学
習会（児童相談所、発達障
害、医療型障害児入所施設
「カルガモの家」、ヤング
ケアラー）に講師をお呼び
して知識を深め、6月には
「子育てサロンまつり」を

学校や関係機関への訪問
を始め、子育てサロン、子
ども食堂、パントリー、登
下校の見守り、パトロール
主任児童委員便りの作成、
学校運営協議会、青少年を
育てる会、子どもサポート
委員会、放課後子ども教室
等、その活動は多岐に渡り
ます。

しかし、期が浅く不安が
ある委員やもつと活動の幅
を広げたいと思う委員も多
いことから、全22地区の活
動内容の一覧表を再作成し、
活動の見直しや新たに取
組むための情報資料として
活用することにしました。

今年度は、定例会の中で
委員同士が話し合える時間
をもっと増やして、地区の
情報や各々が抱える疑問や
悩みを発言しやすい環境を
作り、皆が無理なく自分の
ペースで楽しみながら活動
できるよう、部会の充実を

高齢福祉部会



図っていききたいです。

そして、ここで学んだこ
とを糧に、地区の活動の中
で、子どもや保護者と信頼
関係を築きながら、民生委
員・児童委員と連携し、必
要な支援につなげていける
よう努めてまいります。

令和五年度高齢福祉部会
の視察研修先は、鴻巣市の
「埼玉県防災学習セン
ター」としました。

その理由として近年、地
震・台風・大雨など自然災
害が相次いで発生していま
す。また、首都直下型地震
の発生確率は今後三十年以

内七十パーセントと言わ
れています。このような状
況を踏まえこの視察先での
体験学習が今後地域の防
災・減災対応に参画する際
に役立つと思いい決定した次
第です。

十月四日の視察研修には、
当部員二十二名中十九名の
参加を得ることができまし
た。当日は、一日を通じて
小雨交じりの生憎の天気で
したが、今迄お話す機会
が少なかった方たちとも近
況報告や苦労話を語り合え
る良い機会となりました。

また、昼食の際訪れた先で
のマスクを外した会食は、
私を含め久しぶりとみえ会
話も弾む和やかな雰囲気と

なりました。

視察先には午後二時半に
到着し、センター職員指導
のもと体験学習が始まりま
した。その内容の一部をお
伝えしますと、震度七クラ
スの地震体験・火災発生時
の避難及び消火活動体験・
風速三十メートルを超える
暴風雨体験などでした。

この体験学習の感想を申
しますと、至極当然なので
すが、いつ・どこで遭遇す
るか分からない災害は、そ
れに遭遇した全ての老若男
女関係なく被害が及ぶとい
うこと。そしてまた、何よ
りも大切な命を守るには日
頃の防災・減災対策が如何
に大切かという事でした。

災害への備えは、これか
らも行政・自治会・福祉事
務所・自主防災会・民生委
員・児童委員など地域ぐる
みの取り組みが必要で
す。

今後、私達民生委員・児童
委員も日常の訪問活動を通
じて防災に関する話題（避
難時の持物・避難所・避難
経路・危険箇所など）を取
り入れていくことで地域の
防災活動に寄与していき
たいと思えた視察研修でした。

地区の活動紹介

第3地区

小出 祐子

第三地区は川越駅北西部の上野田町、田町、野田町一・二丁目、東田町、今成一・二・三・四丁目、小ヶ谷町、小室町で構成されています。今回は、今成地区の民踊クラブの活動を紹介します。

川越市民踊レクリエーション連盟今成支部は発足してから四十数年と息の長い活動をしています。多い時は三十人程いたメン



バーも、高齢化やコロナ禍の影響で、現在は六名の少数精鋭で活動しています。講習で習った踊りを各家庭で何十回と練習し、毎週金曜日今成自治会館での練習日に合わせていきます。ラジカセの曲に合わせて、川越音頭、富士ばやし、百万石音頭など次々と踊る姿は、年齢を感じさせない素晴らしいものです。小江戸川越春まつりではお揃いの浴衣で参加したり、昨秋は市民文化祭にも出場し、練習の成果を披露してきました。毎年行われている今成三町合同納涼まつりには、まつりの要としてご尽力いただいています。昨年からはおまつり前に練習日を設け、地域住民に盆踊りの指導をしてくださいました。民生委員・児童委員も参加し、一曲踊っただけで汗だくになるような実はハードな踊りだということを知り、貴重な体験となりました。また、地域の子ども達も多数参加し、やさしく指導してくださいました。無邪気に踊る子ども達のほほえましい世代間交流を実現して



いただき、感謝の気持ちで一杯です。おまつり当日は、熱中症に気をつけながら、舞台の上や円の真ん中で何曲も踊ってください、おまつりは大盛況となりました。踊ることは、「頭の運動、身体の運動、心の運動」になるとのこと。皆さん、癒し・楽しみ・趣味の時間として、大切に楽しく活動しています。おまつりなどで興味を持ってくれる若い世代の入会を期待しています。

古谷地区

若林 英雄

古谷地区は市の東部に位置しており、荒川・入間川が合流している地域です。東はさいたま市と接してい

ます。ほぼ全域にわたり豊かな自然環境、田園風景が残っていますが、近年は開発が進み宅地化されてきています。2024年3月現在の調査では、世帯数4517、人口10111人。高齢化率34.6%、一人暮らしの高齢者は約400人と高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が多くなってきております。

古谷地区では、19自治会からなる自治連が主体となり、その他各種団体を含め、大きなイベントは大勢の地域住民に参加してもらえるよう、魅力ある活動を展開しています。

- 地区では、
- ・人と人とのつながりを深め、みんなで支え合う地域にしよう
- ・地区としての特性を生かした魅力ある事業展開をしよう
- ・誰もが生き生きと楽しく、安全に暮らせる地域にしよう

この3つのスローガンのもと、自治会・地区社協・他各種団体が協力し活動しています。



- 古谷地区民児協としては、民生委員・児童委員と主任児童委員2名を含む15名で活動しています。2023年度の主な活動としては、
- ・見守り活動
- ・一人暮らしの高齢者を対象とした食事会の開催
- ・世代間交流ランドゴルフ大会の開催
- ・高齢者や子ども達対象の安全指導

また教育委員会と連携し、2023年5月より小学生を対象とした放課後こども教室「ふるやっ子夕やけクラブ」を7回開催しました。コロナウイルスは減少傾向にあります。2024年度も活発な地域福祉推進のため、より充実した活動をしていきます。

生きがい訪問

● 第4地区 ●
福田智江子さん



人生百年時代

第二次世界大戦の終戦後に戦争を知らない子として、上松江町（現松江町二丁目）に生まれ喜寿の歳になりました。

出版関係の仕事を十八年勤め、自宅と会社の往復で、地域との関わりは皆無でし



た。会社人の時は趣味として茶道の稽古をしておりました。

家庭に入り茶道の他に書道・絵手紙等に興味を持ち、サークルに入会し活動の場を広げました。

自治会での書記・会計等の仕事を通して、地域での人と人との繋がりを持つ事の大切さを知りました。自分の力を地域の中で活かす事は何かと模索している時、自治会の老人クラブで会長の交代時に、なりてが無く、解散になりそうだったので、手を挙げて会長になりました。

楽しい老人クラブ活動を目指して、健康体操教室・健康マージャン教室・シニア芸能大会への参加・誕生会の開催等人との交流の場を作り、健康にプラスして笑

いある生活を願っています。絵手紙は「下手がいい」「下手でいい」をモットーに楽しんでいました。友人に出した絵手紙がきっかけ

で、講師の方が来られなくなったサークルに「一緒に描く」と云うことで、講師資格が無いまま参加しました。身近なものを描いてポストへ投函する、描いた人もそれを送られた人も笑顔になる、そんな絵手紙教室が一つ・二つと開催され、講師資格を取得しました。現在五ヶ所の教室になっています。展示会を開催したり、様々なコンクールに参加しています。

「人生百年時代」健康寿命を伸ばし、元気に笑顔で過ごすことを目指しています。

● 福原地区 ●
矢嶋 静香さん



日々楽しく戦っています

縁あって夫の住む川越市に、大阪より嫁いで来ました。すぐに夫の転勤で、新潟県の柏崎市の社宅に住むこ

とになりました。子どものいない私は浮いていました。友達作りのため、地元編み物教室に。川越へ戻ってから市内の毛糸玉サークルに参加しました。趣味が同じだと和気藹々です。

更年期に入った頃、症状がひどく、整体の先生に「歩きなさい。このままだと寝たきりになります。」と言われ「三ヶ月歩けば、一年、三年、一生」の言葉を信じ毎日歩いています。

十五年以上朝五時起床、掃除をすませ三十分以上歩いています。途中から近くに住む従姉妹も加わりおしゃべりしながら続いています。何もしなければ一日がダラダラと過ぎていきます。体が硬いので、広報で知ったすずめの森神社のヨガサークル「レモンの会」に参加することに。更年期の辛い症状も呼吸法で楽になりましたが、年を重ねると体はどんどん硬くなるばかりです。でも、続けている人達を見てるとやはり「継続は力なり」と思えます。その他に楊式大極拳も続けています。いつまで

たつても覚えられませんが、九十才の人でも出来ると言われ続けています。



海外旅行が趣味の私が、海外でしゃべれるようにと続けているのが英会話サークルです。四年間のコロナ自粛期間で海外旅行に行けず、やっとコロナが五類になったので、今年の二月に従姉妹とトルコへ行き、毎日二万歩ぐらい歩きました。大好きな海外旅行を続けるためには体力が必要だと感じました。

毎日の歩き、ヨガ、大極拳、ボケ防止の英会話、編み物サークルをこれからも続けていきます。私の好きな言葉に帯津先生の「二日一生」、鎌田先生の「今日行く、今日用がある」があります。毎日が楽しい戦いです。

地区民児協だより

第6地区

大野 一美

第六地区は新富町一・二丁目、通町、南通町、脇田町から成り、校区は中央小学校・仙波小学校・第一中学校の三校です。近年では駅に近くの地域のためマンシヨンの建設が多く、現在でも4〜5棟が建設進行中や計画があります。このため、新住民への対応、特に自治会と育成会への加入などが各自治会や民児協の話題となっております。

また、以前に建てられたマンシヨンでは高齢化が進み独居高齢者への支援が必要ですが、オートロックで中に入れないという問題もあり如何に対応するかを考え、いもっこ体操等の事業に関わりを深め情報を集めている現状です。

定例会では連合会の伝達のほか、各委員からの困り



ごとなどを皆さんで話し合い共有すること、主任児童委員との協働を模索しています。

視察研修として昨年は、東京ビッグサイトで行われた国際福祉機器展にバスで参加し、福祉機器の最新技術を勉強してきました。更には全員研修会の後に昼食会を設け和気藹々の中で楽しみました。

第六地区は定数が十一で



すが現在十名で欠員があります。少ない人数ですので助け合い楽しみ合いながら日々の活動を行っています。

地区社協の事業は、大きなイベントとしていた「福祉納涼大会」が会場の都合で開催が見送られています

が、地区別福祉懇談会は毎年開催し地域の問題解決に努め、当民児協も一員として積極的に参加しています。



川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています

川越市社会福祉協議会ホームページ

左側のメニューから「広報・啓発」をクリック

「福祉団体の事務局業務」をクリック

市民児連の「民児協だより」の各号をクリック

川越市社協 検索

主な市民児連活動予定	
6月3日	理事会
7月8日	全員研修会
8月5日	理事会
9月2日	理事会
10月1日	赤い羽根共同募金
10月7〜8日	地区民児協
10月28日	正副会長研修会
10月30日	子育てサロン祭り
11月3日	川越市社会福祉大会
11月11日	在宅障害児招待事業
11月11日	理事会
12月4日	理事会

時の鐘

新メンバーでスタートした広報部会も二年目に入りより親しみやすい紙面作りに取り組んでいきます。

第九十一号では、五部会の部会長さんに活動の様子を紹介していただきました。他の部会がどんな活動や研修をしているのか、広く知りたいと考えたからです。

また、取材時には、皆さんから色々な情報をいただけるよう、広報メンバー同士がラインを通して取材の工夫などを教え合いました。原稿をお寄せいただきました皆様には、心よりお礼申し上げます。

今号の編集担当は、山田純子・吉田昌代・福田茂美・半貫すみれ・笛木達也・小城直子・忍田千早・堀直美・中村時男・神山レイ子・大谷靖の十一名です。

